

の中をぬけてゆく方が楽のように思えたので、右手の小尾根上にルートをとる。

すぐ横線の林道に出る。12時25分。 (記・西和文)

出合(10:00)——二俣(11:20, 11:50)——終了
(12:25)

地獄沢
赤川右俣

1982年7月11日

L

赤川滝から溯行開始。右岸を捲いて上に出た所でわらじをつける。すぐに橋。ここを過ぎると沢が明るくなる。右岸はまだ若い植林地だ。しばらく進むと、沢が大きく左へ曲がる。ここに行く手をふさぐような感じで岩壁が立ちふさがる。50m程の高さ(一番高い所で)があるが、岩はボロボロである。すぐに右岸にも岩壁。さきほどより小さく、すぐにナメがある。ほどなく二俣。右俣へ入る。

しばらくは平凡な沢筋が続く。水量はたいしたことはないが、沢の形状としては大きい。沢が平凡なためハイペースで歩ける。

小滝を越え、右に同等の水量をもつ大きな支沢をわけると、沢の様相が一変した。小滝とナメが連続する、ちょっとした廊下状のところである。ここを越えると沢もほとんど終わりに近い。やがて二俣。右の奥には30mのナメ滝がかかっている。左に入る。まもなく水がなくなり、やぶこぎ5分位で尾根に出た。

(記・西和文)
赤川滝(7:55)——二俣(8:30)——終了(10:55)

赤川右俣, 中俣(作図)